



ここがイチ押し!

vol.7

広報広聴課 ☎ 775-4918・FAX 776-8873

「上尾市ここがイチ押し!」コーナーでは、住んでいるまちにさらに愛着を持ってもらえる「そうなんだ!」「知らなかった!」と思えるような情報をお届けしています。

今月号は「上尾市の豊かな自然と市民生活を支えるインフラ」です。1月に総務省が発表した「2021年の住民基本台帳人口移動報告」によると、上尾市は、東京都特別区部からの転入者の増減率が前年に比べ**18.7%**増加し、神奈川県茅ヶ崎市・藤沢市に次いで**全国で3番目**に多い結果となりました。コロナ禍を契機とするテレワークの普及などで、人口が密集する都心を離れ、身近な自然と都心への交通の利便性を求める動きが進んでいます。市内には、豊かな自然がたくさんあるだけでなく、市民生活に欠かせない水道や道路などのインフラも充実しています。



市域の3分の1以上が緑! 自然豊かな上尾市

平成30年度に実施した市民意識調査では「自然環境や田園風景の豊かさ」について、**74.5%**の市民が「**良い・やや良い**」と答えています。市内には公園や雑木林、農地などが点在しており、その総面積は**17.11平方キロメートル**で**市域の3分の1以上**を占めています。上尾市には緑豊かな自然が詰まっています。



上尾丸山公園をはじめとする都市公園

市の西側にある上尾丸山公園は、各種公園ランキングなどで上位に選ばれており、休日には**県内だけでなく都内からも**利用者が訪れています。

その他にもスポーツ施設が充実している上平公園や、自然を生かした散策路がある平塚公園、パークゴルフ場がある戸崎公園、雑木林が残る上尾運動公園など特色ある公園が市内各所にあります。



上尾丸山公園

ワンポイント「上尾天文台」

上尾丸山公園内の上尾天文台には、**県内では珍しい**太陽を観察することができる天体望遠鏡や、40センチの大口径天体望遠鏡があり、天体観測会なども行なっています。

上尾天文台



県指定のふるさとの緑の景観地・市指定のふれあいの森

ふるさとの緑の景観地は、武蔵野の面影を残す雑木林など、埼玉らしさを感じられる優れた景観を有する区域を埼玉県が指定するものです。市内では「藤波・中分」と「原市」の2カ所が指定されており、いずれも**東京ドームの面積よりも広い**エリアが指定されています。この他、市が指定する6カ所のふれあいの森では、木漏れ日の中で散歩をすることができます。



原市ふるさと緑の景観地



市民23万人の生活を支えるインフラ

朝起きて、洗顔、食事、歯磨きなど私たちの生活になくてはならない水。蛇口をひねるといつでもきれいな水が出てきて、使った水は排水口に流れていきます。また、日常生活で出たごみは、決まった曜日に集積所に出すと、ごみ処理施設に運ばれ焼却されます。そして、通勤、通学、買い物などには道路を使います。水道、下水道、ごみ処理、道路などは、私たちの暮らしに欠かせない重要なインフラです。



安心・安全な上尾の水

上尾市の水道水は、荒川や利根川の河川水を埼玉県の浄水場で飲めるようにした水(県水)と、深井戸からくみ上げた地下水を市の浄水場で飲めるようにした水(自己水)を混ぜて各家庭に圧送しています。その割合は県水が約75%、自己水が約25%です。**2つの水源**を持つことは、**災害時の強み**となっています。また、水道水の安全性を確保するため、水質検査を外部委託だけに頼らず、市職員による**自主検査**も取り入れて行っています。

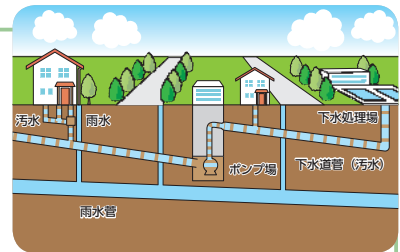


北部浄水場

ワンポイント「下水道は縁の下の力持ち」

公共下水道区域内の家庭からの生活雑排水や事業所からの排水は、市内の地下に埋設されている約718kmの下水道管に集まり、戸田市にある荒川水循環センターまで流れ、微生物による分解処理などを経て、荒川に放流されます。

下水道管は地中で高低差を設ける自然流下式です。そのため戸田市までの間に複数のポンプ場が設置され、くみ上げて流す作業を繰り返します。市内には6カ所のポンプ場があり、**24時間365日稼働**している、まさしく“縁の下の力持ち”です。



ポンプ場の仕組み



市のごみを一手に担う西貝塚環境センター

上尾市のごみ排出量は年々減少傾向にありましたが、コロナ禍の巣ごもり需要などにより増加傾向にあり、現在、**年間約5万トンの1日1人当たり703g**の可燃ごみが排出されています。

西貝塚環境センターは、1日当たり最大300トンの可燃ごみ処理能力で焼却処理を行っています。また、隣接する上尾市健康プラザわくわくランドの温水プールは、焼却処理で発生した熱を利用しています。



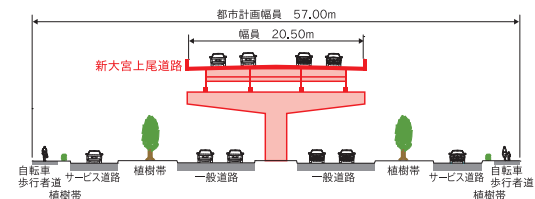
西貝塚環境センター



市内をくまなく走る道路網

市内西側を南北に貫く上尾道路には、高架式の新大宮上尾道路の建設が予定されており、(仮)上尾南出入口の設置が決定しています。また、3月末(予定)には、泉が丘通りが市民体育館通りまで開通し、南北方向のアクセスが良くなります。さらに、市内東側では第二産業道路が、市役所通りまでの区間で整備中です。市内各所で、国や県、市による道路の整備が進められています。

市内を走る市道の**総延長は779.1km**にもなり、これらの維持管理を日夜行っています。



新大宮上尾道路の計画断面図 (提供: 国土交通省大宮国道事務所)



ここも CHECK!

市では、道路や水路の安全を速やかに回復することを目的とした「道路損傷通報システム」を運用しており、これまで多くの通報が届いて修繕しています。今後も皆様のご協力をお願いします。

市ホームページ



皆さん、「上尾市 ここがイチ押し」コーナーは楽しんでいただけましたか。次号は「便利な市役所窓口」について。お楽しみに。